

真摯に作品と向き合い
心身を削って思いを伝える



「第7回翻訳ミステリー大賞授賞式の後で」
©東京創元社

■プロフィール
岩手県一関市出身。上智大学文学部英文学科卒業。ストックホルム大学スウェーデン語科修了。主な訳書にドロシー・ギルマン著『おばさまは飛び入りスパイ』ほか30作、アウンサン・スーチー著『自由』、ナディン・ゴータマ著『ジャンプ他11編』、ヘニング・マンケル著『殺人者の顔』をはじめとする刑事ヴァランダー・シリーズ、アーナルデュル・インドリダソン著『声』ほか多数。著書にヤンソン由実子名で『国際結婚』『男が変わる スウェーデン男女平等の現実』ほか。2016年4月『第7回翻訳ミステリー大賞』『第4回翻訳ミステリー読者賞』をダブル受賞。



翻訳家
やなぎさわ
柳沢 由実子さん
ゆみこ

第243回
荒川の人

日本語に翻訳された多くの海外の推理小説の中から、現役の翻訳者が読者に読んでほしい作品を投票する翻訳ミステリー大賞。今年4月の第7回翻訳ミステリー大賞（2014年11月1日〜2015年10月31日）刊行作品が対象を受賞したのが、荒川区在住の翻訳家・柳沢由実子さん。敬愛し、熱意を込めて翻訳を手がけるアイスランドの作家アーナルデュル・インドリダソンの『声』という作品でした。

英語、スウェーデン語の
数多くの作品を翻訳

「私と外国語の出会いには幼稚園時代に遡ります。家の近所にイギリス人を父親にもつおばさんが住んでいて、その息子さんとは幼稚園に一緒に通う仲良しでした。おばさんが英語を話し、英語の歌を歌ったりしたので、遊びながら自然に英語を音で捉え、言葉を覚えていきました。小さい頃に外国語に親しんだ体験から、大学で英文を専攻する傍ら、英語以外の語学も勉強したくなって、スウェーデン語を学びました。後にスウェーデン人と知り合って結婚し、ストックホルムに暮らすことになりました。ストックホルム大学でスウェーデン語を学んだ後、スカンジナビア航空に勤務。出産の後に日本に帰国しましたが、現在も日本と子どもたちの住むストックホルムを行き来しています」

帰国後、柳沢さんは最初は通訳としてフリージャーナリストとして執筆活動を行っていたそうです。その後日本で起きた薬害スモン病の証人となり裁判を勝訴に導いたスウェーデン人医師のノンフィクションの翻訳を皮切りに、スピルバーグ監督が映画化したアリス・ウォーカーのピューリッツァー賞受賞作『カラパール』、ノーベル平和賞を受賞したアウンサン・スーチーの『自由』を翻訳。また、好奇心旺盛

なおばさまがスパイとなって活躍する、ドロシー・ギルマンの人気シリーズ『おばさまは飛び入りスパイ』など、数えきれないほどの作品を翻訳されています。

自分自身の身体を通して
伝えたい思いを書き出す

皆さんは海外の翻訳作品を読むとき、そのほとんどが元々書かれた言語でなく、英語からの翻訳だということをご存知でしたか。

「原書はドイツ語だったりポルトガル語やスウェーデン語だったりしたものを一度英語に訳し、英語から日本語に訳す「重訳（じゅうやく・ちようやく）」が行われます。その理由は、英語以外の翻訳者が少ないせいもありますが、世界的に認められた作品はまず英語として市場に出て、そこから各国の言語となって広まっていくのです。でも最近では原語からの訳も少しずつ出てきて、私はスウェーデン語から直接訳しています」

「翻訳はまず原書を読み込むことから始まります。そして、書かれている内容についての下調べを行います。時代背景や慣習をはじめ、歴史的なこと、社会的なこと、すべて調べて事実と照合しないとちゃんと訳せません。この下調べにしっかりと時間をかけます。そして、作者がなぜこの本を書いたのか、本人の肉声で聞きたいと思った時は、私にできる限り、作者に会いに行きます。翻訳は、横のもの（外国語）を単純に縦（日本語）に直すことではない。作者が言いたいことを、全部自分の身体を通して、作者の思いに一番近い言葉を探して日本語にしていきたいと思います」

「第7回翻訳ミステリー大賞をいただいた『声』は人間の内面や親子の関係性を掘り下げた、静かで重い作品です。作者インドリダソンはなぜこの犯罪が起きたか、社会環境を問う姿勢を持っていて、それが世界中で高い評価を受ける理由だと思えます。今後発行されるものでは、ヘニング・マンケルのエッセイ『流砂』が1周年に合わせた出版されます。そして、スウェーデン語からの新訳でお届けする刑事マルティン・ベックシリーズの4作目の翻訳にも取りかかっています。人気シリーズで昔読んだという方もぜひ手に取ってみていただきたいと思っています」

手がけた北歐ミステリー話題作が続々と刊行される原語に最も適した言葉、表現、文体を創り出すという厳しい作業。そして、作者の思いを一旦自分の中に取り入れるために、描かれる痛みを直に感じてしまい、気分が重くなってしまうこともあると言います。そんな時は、気分転換に散歩に出かけることも多いそうです。

「荒川に住むことになったのは全くの偶然なのですが、スウェーデン発祥のコレクションハウスと出会って気に入って住み始め、もう6年になります。荒川は交通の便も良いし、物価も安く、お付き合いを大事にする地域でも住みやすい。近所のスーパーに買物に行っても、皆が気軽に話しかけてくるでしょ。人と人の距離が近い町だと思います」

最後に柳沢さんのいち押し作家やこれから出版される作品について伺いました。

「第7回翻訳ミステリー大賞をいただいた『声』は人間の内面や親子の関係性を掘り下げた、静かで重い作品です。作者インドリダソンはなぜこの犯罪が起きたか、社会環境を問う姿勢を持っていて、それが世界中で高い評価を受ける理由だと思えます。今後発行されるものでは、ヘニング・マンケルのエッセイ『流砂』が1周年に合わせた出版されます。そして、スウェーデン語からの新訳でお届けする刑事マルティン・ベックシリーズの4作目の翻訳にも取りかかっています。人気シリーズで昔読んだという方もぜひ手に取ってみていただきたいと思っています」

柳沢さんの新刊を近隣の書店で目にする機会も多いと思います。これまでに発行された作品は図書館の蔵書としても数多く納められています。が、近所である「タヤケこやけふれあい館」（東日暮里3-11-19）に寄贈され、手に取って読むことができます。

ぶくらむ収納から、ゆとりの収納へ!

トランクルーム 貸し納戸

安心な管理人常駐!!管理費・共益金ナシ!!天井高3mで収納抜群!!

2階 割安ブース完成!!

3階 若干空きあり!!

詳しくはホームページをご覧ください
※空室はお電話にてご確認ください。

引越しの合間に家具の収納として。
シーズンオフの生活用品やスポーツ用品の収納に。

泰山堂トランクルーム 東京都荒川区荒川4-48-3
TEL03-3802-8888 (8:00~19:30) FAX03-3805-2690

http://www.okubopp.co.jp/

6月28日(火)~8月9日(火)

北の幸祭り

特別価格でご提供いたします。

国産牛ロース肉 3,456円税込
和牛霜降肉 4,320円税込

無料送迎バスをご用意いたします。
※10名様以上のご利用で承ります。

木曾路南千住店 荒川区南千住5-6-15
TEL: 03-5850-5567

グラスドリンク人数分プレゼント

- 2,160円以上の料理をご注文に限りです。
- グラスドリンクを人数分プレゼントいたします。
- 他券との併用はできません。
- ご飲食前に係員にお渡しください。
- 平成28年8月31日まで有効
- 木曾路南千住店のみの有効